

議案第1号

新潟都市計画下水道の変更

(新潟市決定)

新潟都市計画新潟市東部公共下水道「4. その他の施設」を次のように変更する。

4. その他の施設

内 訳	位 置	備 考
横越雨水調整池	新潟市江南区横越字下郷	約7,400 m ²

「区域は計画図表示のとおり」

理由

横越雨水調整池について、貯留容量の算定方法の見直しにより、施設面積を変更するものである。

新 旧 対 照 表

1. 下水道の名称

新潟市東部公共下水道

2. 排水区域

名 称	面 積	備 考
新潟市東部公共下水道	合流及び汚水 約 4,482ha	新潟第 1 処理分区 約 280ha 新潟第 2 処理分区 約 219ha 新潟第 2-1 処理分区 約 24ha 新潟第 3 処理分区 約 379ha 新潟第 4 処理分区 約 1,514ha 新潟第 5 処理分区 約 864ha 新潟北山第 1 処理分区 約 4ha 新潟北山第 2 処理分区 約 3ha 西山処理分区 約 47ha 亀田第 1 処理分区 約 561ha 亀田第 2 処理分区 約 182ha 亀田第 3 処理分区 約 76ha 横越処理分区 約 329ha 小 計 約 4,482ha
	雨 水 約 4,162ha	本馬越排水区 約 79ha 大石排水区 約 689ha 石山排水区 約 39ha 本所排水区 約 185ha 木戸排水区 約 400ha 上木戸排水区 約 149ha 海老ヶ瀬排水区 約 381ha 河渡排水区 約 155ha 松崎排水区 約 328ha 大山排水区 約 23ha 臨港排水区 約 63ha 山の下排水区 約 170ha 北山排水区 約 7ha 物見山排水区 約 613ha 大淵排水区 約 6ha

「区域は総括図表示のとおり」

() 内は既決定

名 称	面 積	備 考	
新潟市東部公共下水道	雨 水 約 4,162ha	亀田中島第1排水区	約 10ha
		亀田中島第2排水区	約 8ha
		亀田金助排水区	約 21ha
		亀田諏訪・稲葉第1排水区	約 15ha
		亀田諏訪・稲葉第2排水区	約 49ha
		亀田諏訪・稲葉第3排水区	約 23ha
		亀田長善原排水区	約 31ha
		亀田西町第1排水区	約 14ha
		亀田西町第2排水区	約 23ha
		亀田美女池第1排水区	約 83ha
		亀田美女池第2排水区	約 3ha
		亀田砂岡排水区	約 11ha
		亀田東砂岡排水区	約 25ha
		亀田中部第2排水区	約 5ha
		亀田城山第1排水区	約 34ha
		亀田城山第2排水区	約 6ha
		亀田城山第3排水区	約 19ha
		亀田城山第4排水区	約 19ha
		亀田船戸山・荻曾根第1排水区	約 46ha
		亀田船戸山・荻曾根第2排水区	約 26ha
		亀田船戸山・荻曾根第3排水区	約 7ha
		亀田船戸山・荻曾根第4排水区	約 26ha
		亀田船戸山・荻曾根第5排水区	約 12ha
		亀田船戸山・荻曾根第7排水区	約 20ha
		亀田船戸山・荻曾根第8排水区	約 14ha
		亀田船戸山・荻曾根第9排水区	約 1ha
		亀田大月排水区	約 26ha
		亀田元町排水区	約 19ha
		亀田早通第1排水区	約 2ha
		亀田早通第2排水区	約 20ha
		亀田早通第4排水区	約 37ha
		亀田早通第5排水区	約 21ha
		亀田三條岡排水区	約 8ha
		横越排水区	約 32ha
横越横川排水区	約 30ha		
横越上郷排水区	約 2ha		
横越二本木排水区	約 16ha		

「区域は総括図表示のとおり」

() 内は既決定

名 称	面 積	備 考
新潟市東部公共下水道	雨 水 約 4,162ha	横越二本木下排水区 約 7ha
		横越上排水区 約 13ha
		横越上郷第 2 排水区 約 18ha
		横越中央第 1 排水区 約 16ha
		横越中央第 2 排水区 約 1ha
		横越中央第 3 排水区 約 4ha
		横越西排水区 約 9ha
		横越上郷第 3 排水区 約 26ha
		横越横川第 2 排水区 約 4ha
		横越第 2 排水区 約 13ha
		小 計 約 4,162ha

「区域は総括図表示のとおり」

() 内は既決定

3. 下水管渠

内 訳	位 置		備 考
	起 点	終 点	
新潟 4-1 号幹線	新潟市東区海老ヶ瀬大勿	新潟市東区海老ヶ瀬	

「区域は総括図表示のとおり」

() 内は既決定

4. その他の施設

内 訳	位 置	備 考
木戸ポンプ場	新潟市東区下木戸 3 丁目	約 3,200 m ²
中木戸中継ポンプ場	新潟市東区中木戸	約 1,900 m ²
物見山中継ポンプ場	新潟市東区空港西 1 丁目	約 1,000 m ²
大山ポンプ場	新潟市東区上王瀬町	約 2,600 m ²
山の下ポンプ場	新潟市東区古湊町	約 7,400 m ²
臨港ポンプ場	新潟市東区臨港町 2 丁目	約 760 m ²
松島ポンプ場	新潟市東区松島 1 丁目	約 640 m ²
下山ポンプ場	新潟市東区松浜町字古水戸	約 8,900 m ²
亀田ポンプ場	新潟市江南区亀田工業団地 1 丁目	約 390 m ²
二本木汚水中継ポンプ場	新潟市江南区二本木字中郷	約 90 m ²
木津汚水中継ポンプ場	新潟市江南区木津工業団地	約 150 m ²
横越雨水調整池	新潟市江南区横越字下郷	(約 10,400 m ²) 約 7,400 m ²
横越上雨水調整池	新潟市江南区横越字上郷	約 3,800 m ²

「区域は計画図表示のとおり」

() 内は既決定

都市計画の案の理由書

1. 新潟市の将来像における位置付け

本市は、平成 19（2007）年 4 月に本州日本海側で唯一の政令指定都市として新たなスタートを切り、以降、8 つの行政区において、地域の特性を活かした個性あふれるまちづくりを進めてきたところである。その中で、新潟市が目指す都市の姿や、その実現に向けたまちづくりの方向性を共有し、互いに連携・協働しながら取り組んでいけるよう、令和 4 年度に「新潟市総合計画 2030」が策定され、次のように位置付けられた。

新潟市総合計画 2030（※下水道に関連する部分を抜粋）

【基本構想】

● 目指す都市像

◎豊かな社会 ～共につながり、安心を広げる～

◇都市全体・地域全体で防災・減災力を高め、激甚化・頻発化する自然災害に備えられています

◎豊かな環境 ～守り、育み、未来へつなぐ～

◇まちなかにも花や緑があふれ、きれいな水や空気に包まれながら、潤いのある生活を送っています

【基本計画】

5 重点戦略

重点戦略 10 安心・安全で災害に強いまちづくり

下水道施設の機能確保と計画的な改築

○下水道施設の老朽化が進む中、安心・安全で、持続可能な下水道サービスを提供するため、予防保全型の維持管理を行うとともに、施設の統廃合を含め計画的な改築を推進します。

雨に強いまちづくりと耐震化・耐水化の推進

○浸水被害の軽減に向け、気候変動の影響や地域の実情を踏まえた整備目標の検討を行うとともに、緊急度が高い地区を優先した浸水対策施設の整備や、自助・共助対策の促進など、ハード・ソフト一体となった総合的な浸水対策を推進します。

○大規模地震や津波、洪水が発生した際、市民生活に及ぼす影響を最小限にとどめるため、下水道施設の耐震化・耐水化を推進します。

6 各分野の政策・施策

分野7 まちづくり・インフラ

政策15 インフラ 安心・安全で持続可能なインフラの整備

市民の日常生活や社会経済活動を支えるインフラについて、日常的な整備により良好な状態を保つとともに、計画的・効率的な維持保全により、現在だけでなく、将来にわたって全ての市民が安心して暮らせるまちを目指します。

インフラは災害が起きた際にも機能を保つ強靱さが重要であるため、致命的な損傷を受けず、かつ迅速に復旧できる災害に強いまちを目指します。

施策3 安心・安全で持続可能な下水道の推進

① 下水道施設の機能確保と計画的な改築

○下水道施設の老朽化が進む中、安心・安全で、持続可能な下水道サービスを提供するため、予防保全型の維持管理を行うとともに、施設の統廃合を含め計画的な改築を推進します。

② 雨に強いまちづくりと耐震化・耐水化の推進

○浸水被害の軽減に向け、気候変動の影響や地域の実情を踏まえた整備目標の検討を行うとともに、緊急度が高い地区を優先した浸水対策施設の整備や、自助・共助対策の促進など、ハード・ソフト一体となった総合的な浸水対策を推進します。

○大規模地震や津波、洪水が発生した際、市民生活に及ぼす影響を最小限にとどめるため、下水道施設の耐震化・耐水化を推進します。

③ 総合的な汚水処理の推進

○衛生的で快適な市民生活の確保と水環境の保全を図るため、地域の実情に応じて、下水道と合併処理浄化槽の役割分担による総合的な汚水処理を推進します。

2. 都市計画の必要性

機能的で快適な市街地を形成するには、都市計画に基づいた土地利用計画を推進し、将来の発展に備え、都市施設の整備及び計画を進める必要がある。このようなことから、下水道を都市施設に位置付け都市計画事業としての整備・維持管理を行い、地域住民の生活環境の向上と自然環境の保全のために下水道を都市計画に位置付ける必要がある。

3. 位置、区域、規模の妥当性

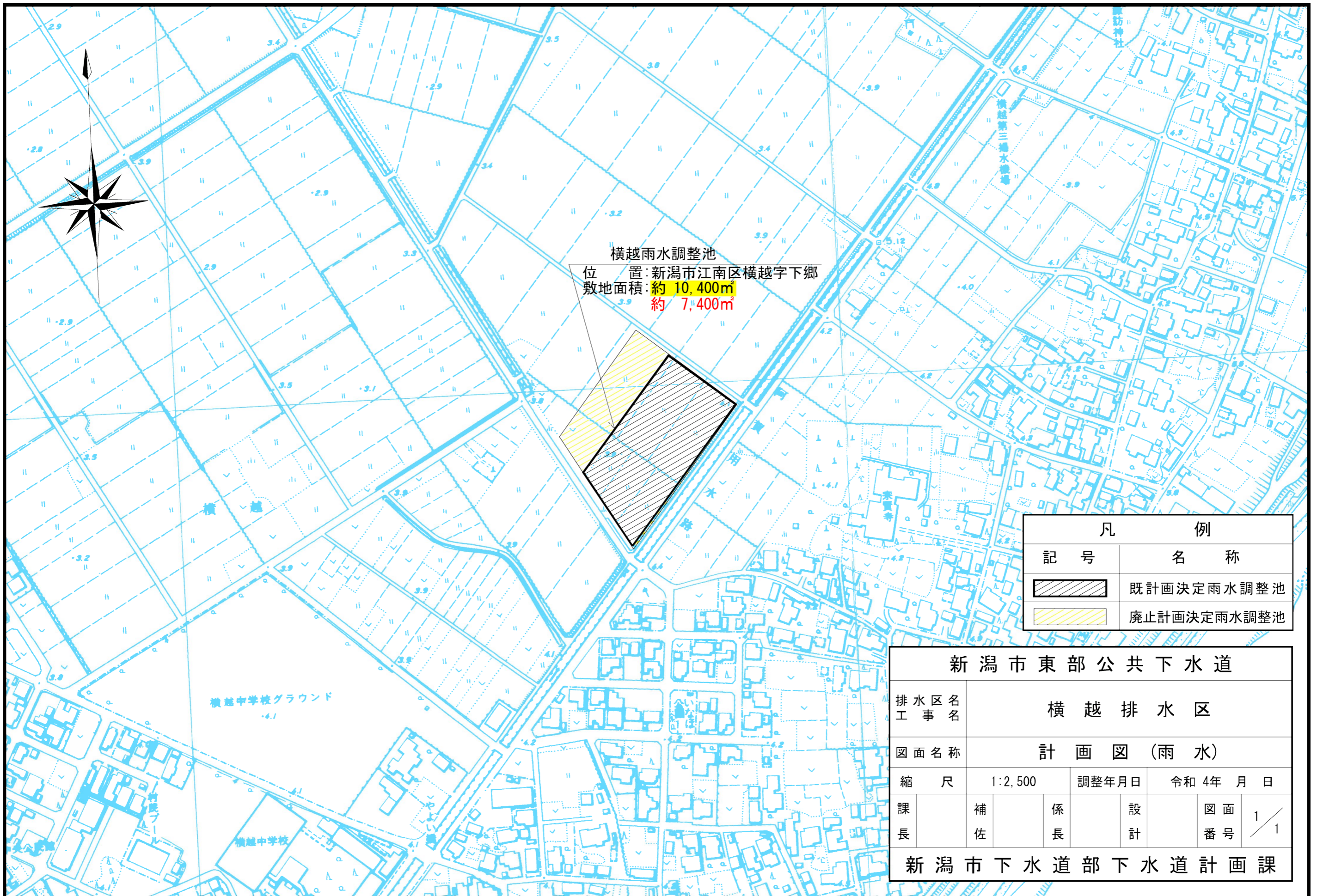
下水道の都市計画決定を定める目的は、排水区域及び下水管渠等、全体計画で定められた下水道計画を都市計画との整合を図りながら位置付け、地域住民に対して明確にすることにある。新潟市東部公共下水道は、住民ニーズや上位計画と整合を図りながら、根幹となる都市施設を位置付けている。また、都市計画には、下水道計画で定められた都市施設を位置付ける必要がある。今回、都市計画下水道の変更を行う都市施設の規模を以下に示す。

下水道施設の規模は、「3. 下水管渠」及び「4. その他の施設」に位置付けられている。都市施設の規模は、計画水量に対して十分に流下（管渠・ポンプ場・調整池）できる能力が必要であり、施設の配置計画、平面計画、縦断計画及び断面計画を詳細に検討して決定している。本変更では下水道施設の効率的な構築と維持管理を行うため、降雨強度式及び調整方法の見直しを行い、改めて貯留容量や施設面積を算定した結果、横越雨水調整池の施設面積を「約 10,400 m²」から「約 7,400 m²」に縮小する。

4. 都市計画決定の変更を行う理由

横越雨水調整池は、阿賀用水路の暗渠化に伴い、横越排水区の排水区域及び計画諸元の見直しを行ったことにより、放流先である横越排水路への許容放流量以上の雨水流出量については、雨水流出抑制手法（雨水調整池）により対応することから、平成19年7月18日に都市計画に位置付けている。

この度、下水道施設の効率的な構築と維持管理を行うため、降雨強度式及び調整方法の見直しを行い、改めて貯留容量や施設面積を算定した結果、横越雨水調整池の施設面積を「約10,400 m²」から「約7,400 m²」に縮小する。



凡 例	
記 号	名 称
	既計画決定雨水調整池
	廃止計画決定雨水調整池

新潟市東部公共下水道				
排水区名 工事名	横越排水区			
図面名称	計画図(雨水)			
縮 尺	1:2,500	調整年月日	令和 4年 月 日	
課 長	補 佐	係 長	設 計	図面 番号 1/1
新潟市下水道部下水道計画課				